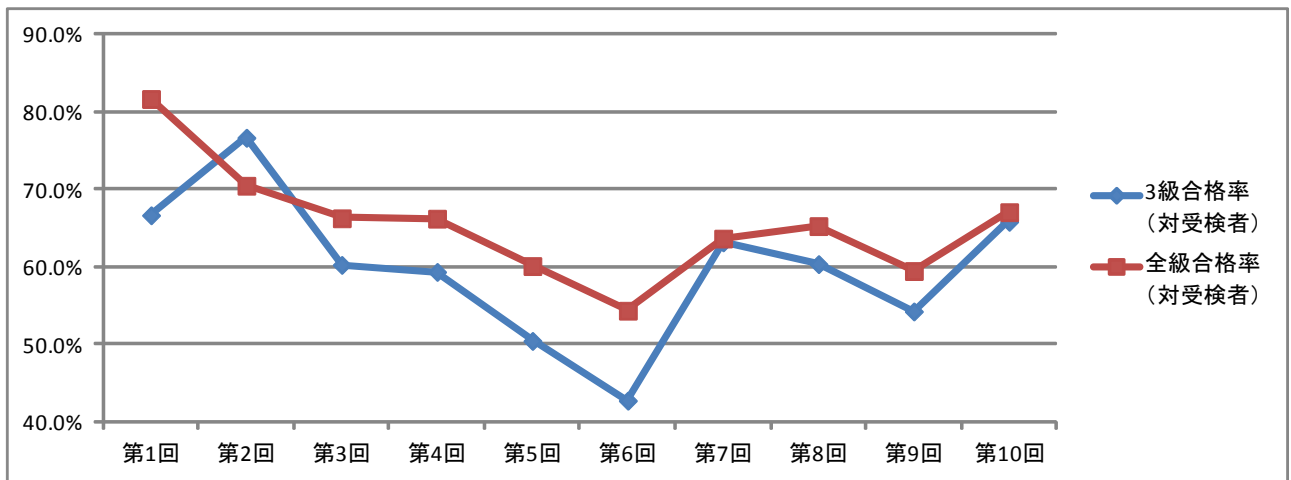


# 3級

## 【5】3級の傾向とアドバイス

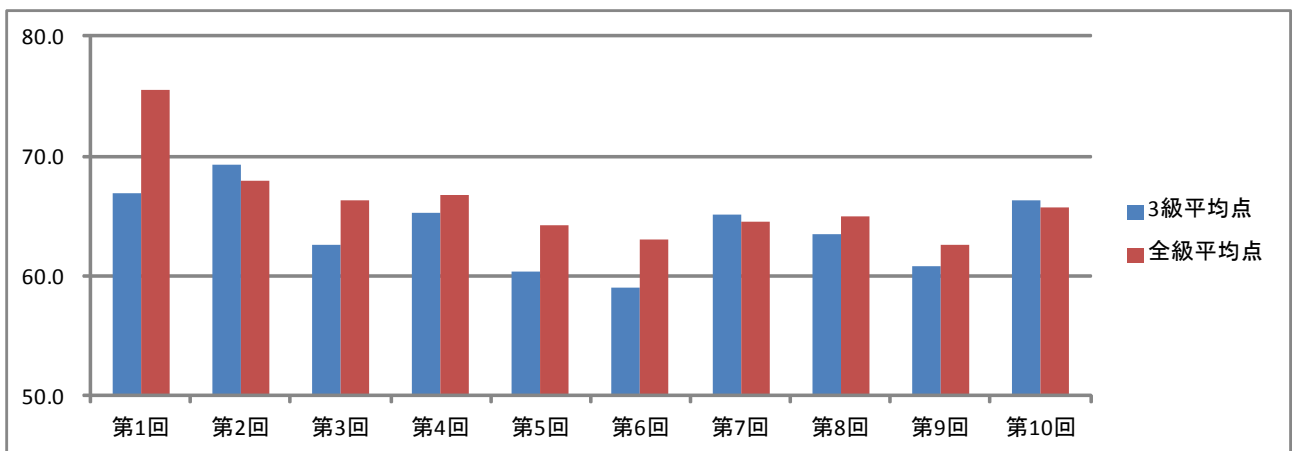
3級は、ベーシック級とともに例年多くの方が受検しています。第10回についても、申込者数・合格者数ともに、全級の約40%を占めています。人数が多いせいか、バラツキも多く、例年は合格率や平均点は全級よりも若干低くなっていました。しかし、第10回は受検者の皆さんの努力の結果、合格率は全級とほぼ同じにあり、平均点は全級よりも高くなっています。第10回が残念な結果に終わった方は、後述するアドバイスを参考にして、しっかり学習して再チャレンジをはかってください。

### ●3級の合格率<未認定者含む、第1回は1級と2級未実施>



3級	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
申込者数	47	73	201	518	378	680	429	708	520	849
受検者数	45	73	199	515	376	678	418	675	501	832
合格者数	30	56	120	306	190	290	264	408	272	548
合格率 (対受検者)	66.7%	76.7%	60.3%	59.4%	50.5%	42.8%	63.2%	60.4%	54.3%	65.9%

### ●3級の平均点<第1回は1級と2級未実施>



	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
3級平均点	66.9	69.2	62.5	65.2	60.4	59.0	65.1	63.4	60.8	66.3
全級平均点	75.5	67.9	66.3	66.8	64.2	63.0	64.5	65.0	62.6	65.7

●3級の主な出題内容

単位	出題内容(章、節)
<第1単位テキスト> <b>■役割</b> (計15節)	<b>●第1章 リーダーの役割 ～ 第5章 活気のある職場づくり</b> ・リーダーの役割と能力 ・企業の目的とその責任、生産活動に期待されるもの ・リーダーシップを発揮するには、作業指導の進め方、ミーティングの上手な進め方 ・職場改善の定石、職場改善と小集団活動
<第2単位テキスト> <b>■コスト</b> (計14節)	<b>●第1章 原価管理の必要性和リーダーの役割 ～ 第5章 設備生産性向上の進め方</b> ・原価の構成と計算の目的、原価低減とリーダーの役割 ・改善発想技術とは ・タイムスタディ、ライン作業分析、連合作業分析 ・作業測定における管理指標とロス、作業パフォーマンスの測定方法
<第3単位テキスト> <b>■品質</b> (計15節)	<b>●第1章 品質のしくみと不良の影響 ～ 第4章 不良ゼロへの挑戦のしかた</b> ・品質保証こそ現場の役割、品質を決定する4M、現場の品質の実態を知ろう ・良い品質を作るベース、高品質職場を実現する方法、小集団活動と高品質グループづくり ・不良品や異品の混入防止 ・現象を科学する方法、改善に役立つさまざまな手法
<第4単位テキスト> <b>■納期・生産管理</b> (計12節)	<b>●第1章 生産形態を決める ～ 第3章 生産統制のノウハウ</b> ・生産形態を決めるポイント、生産形態の応用例 ・職場の実態を科学的につかむ、段階的に生産計画を立案する、部品の必要数を明確にする、生産計画の立て方、計画や作業の標準を役立てる ・問題を上手に処理する方法
<第4単位テキスト> <b>■安全・環境</b> (計5節)	<b>●第4章 安全管理におけるリーダーの役割 ～ 第5章 環境保全活動と改善活動の果たす役割</b> ・安全管理におけるリーダーの役割、ゼロ災運動と管理手法、災害・事故の再発防止 ・身近な環境保全活動

①出題の意図

・ グループリーダーとしての基本を完ぺきに!

3級の受検者の方は、初めてリーダーとしてメンバーをまとめる重要な役割を担います。そのため、業務の管理だけでなく、人の管理の重要性を理解することや小集団活動、ミーティングの進め方などについても理解を深めていなければなりません。そのうえで、よりよいコミュニケーションをはかって、メンバー全員の知恵と協力を結集して、優れた職場を実現していただきたいと思えます。

また、原価の構成、編成効率、編成ロス、目標サイクルタイム、稼働率、総合パフォーマンス、ワークサンプリング、工程能力指数 (Cp 値)、所要量展開と発注手配量などの計算は、労働生産性を高め、高品質職場を実現するための必須知識です。完全に理解するまで学習してください。

・第10回は、「品質」、「コスト」の配点が、高め

第10回の3級では、「役割、品質、コスト、納期・生産管理、安全・環境」の5分野のうち、「品質」、「コスト」の配点が高くなっています。

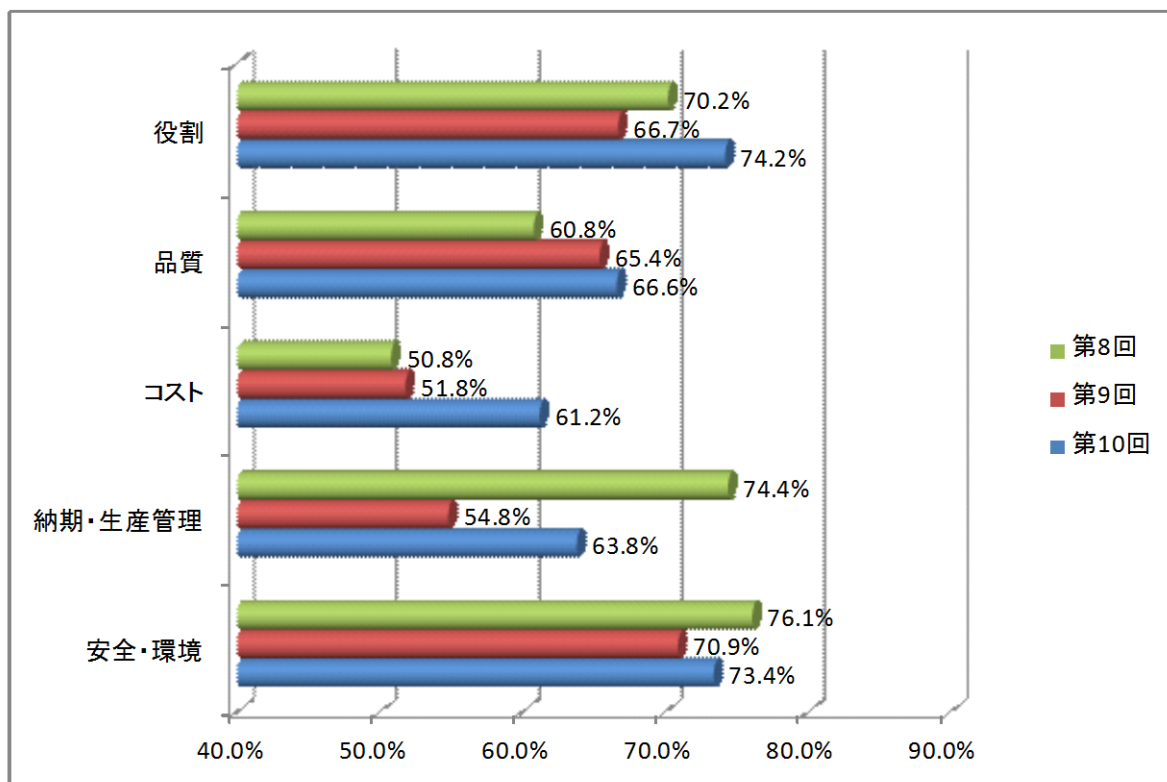
特に、「コスト」の計算は、日ごろから馴染みのないものもあるため、ご苦労されたかも知れません。しかし、この内容は、IEの核心箇所ともいえるメソッドエンジニアリングとワークメジャメントです。製品をより安くつくるための基本ですので、テキストを繰り返し読んで、さらに何回も計算を解いてみて、確実に理解してください。

また、過去多く出題されている「付加価値＝市場価値－調達価値、原価の構成と計算（付加価値、製造原価、総原価）」といった基本についても、理解がいま一つようです。日ごろの業務に関連づけて、一つひとついねいに学習して、正確に理解することが大切です。

分野	問題数	配点
■役割	8	17
■品質	13	23
■コスト	11	32
■納期・生産管理	11	19
■安全・環境	7	9
計	50	100

②結果から見えてきた弱点

・分野別得点率



## ・得点率が低い項目

分野	弱点項目
■役割	<p>●得点率 74.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業指導の進め方</li> <li>・職場改善と小集団活動</li> </ul>
■品質	<p>●得点率 66.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良い品質を作りこむ基本的態度</li> <li>・アローダイアグラム(新QC七つ道具)</li> </ul>
■コスト	<p>●得点率 61.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原価の構成の計算</li> <li>・ムダの改善方法</li> <li>・タイムスタディ</li> <li>・目標サイクルタイムの計算</li> <li>・編成効率と編成ロスの計算</li> <li>・総合パフォーマンスと作業パフォーマンスの計算</li> </ul> <p style="text-align: center;"> <math display="block">\text{総合パフォーマンス(\%)} = \frac{\text{標準出来高工数}}{\text{就業工数}} \times 100</math> <math display="block">\text{作業パフォーマンス(\%)} = \frac{\text{標準出来高工数}}{\text{実働工数}} \times 100</math> <math display="block">\text{標準出来高工数は} \quad \text{標準時間} \times \text{良品生産量}</math> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観測数の計算(ワークサンプリング)</li> </ul>
■納期・生産管理	<p>●得点率 63.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大日程計画、中日程計画、小日程計画</li> <li>・所要量展開と発注手配量の計算</li> <li>・具体的な進捗対策(問題を上手に処理する方法)</li> </ul>
■安全・環境	<p>●得点率 73.4%</p> <p>※弱点項目は、特になし</p>

## ・メソッドエンジニアリングとワークメジャメントに関する「計算」が弱点！

第10回の3級は、比較的弱点項目が少ないといえるでしょう。特に、「コスト」と「納期・生産管理」の得点率が、第9回に比べて高くなったことが大きな特徴です。しいていえば、「安全・環境」において、緊急事態への適切な対応について、正確に理解していなかった方が目立つ程度です。安全の基本ともいえるヒヤリハットの法則とともに、完全に理解して、職場の中で活かしてください。

また、計算問題が多い「コスト」ですが、前記のとおり、メソッドエンジニアリングとワークメジャメントが中心です。第10回の「コスト」は、例年よりも約10ポイントも得点率が高いとはいえ、理解がいま一つの問題も多少ありました。繰り返しになりますが、正確に理解することが大切です。

その他として、「納期・生産管理」の大日程計画、中日程計画、小日程計画や所要量展開と発注手配量の計算なども、弱点項目のようです。

「コスト」、「納期・生産管理」については、繰り返しテキストを読んで、うわべだけの理解ではなく、日ごろの業務に関連づけて、本質的に理解をすることが肝要です。